

奈良市子ども・子育て会議 事業計画策定部会委員名簿

(敬称略)

	氏 名	所属 ・ 役職名等	備 考
1	オオガタ ミカ 大方 美香	大阪総合保育大学児童保育学部 教授	
2	オモト サトコ 岡本 聡子	NPO法人ふらっとスペース金剛 代表理事	
3	ハマダ シンジ 浜田 進士	NPO法人子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長	
4	ホリコシ ノリカ 堀越 紀香	奈良教育大学教育学部 准教授	
5	ヤマカミ トリタケ 山岡 利啓	奈良市子ども未来部 参事	
6	ナカガワ マサミ 中川 昌美	奈良市子ども未来部 子ども政策課長	
7	オカザキ トシヒコ 岡崎 利彦	奈良市子ども未来部 こども園推進課長	
8	タケウチ シンタロウ 竹内 義朋	奈良市子ども未来部 保育所・幼稚園課長	
9	カワジリ ヒトミ 川尻 ひとみ	奈良市子ども未来部 子ども育成課長	
10	カミムラ ヒロノブ 上村 均	奈良市子ども未来部 子育て相談課長	
11	イシハラ フミヒロ 石原 伸浩	奈良市教育委員会事務局 教育政策課長	
12	マツダ ヨシヒデ 松田 義秀	奈良市教育委員会学校教育部 地域教育課長	

奈良市子ども・子育て会議 事業計画策定部会 設置要領

(設置)

第1条 奈良市子ども・子育て会議条例（平成25年奈良市条例第12号。以下「条例」という。）第7条第1項の規定に基づき、奈良市子ども・子育て支援事業計画の策定について協議するとともに、関連する課題を整理することを目的として、奈良市子ども・子育て会議事業計画策定部会（以下「部会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 部会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 利用希望の調査に関すること。
- (2) 子ども・子育て支援法第61条第2項の規定に関すること。
- (3) 子ども・子育て支援法第61条第3項の規定に関すること。
- (4) 前3号のほか事業計画の策定に関連して検討を要すること。

(構成)

第3条 部会の委員は、奈良市子ども・子育て会議（以下「会議」という。）に属する委員及び奈良市職員並びに奈良市教育委員会事務局職員のうちから会議の会長が指名する。

(部会長等)

第4条 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

- 2 部会長は、部会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 3 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長の指名する委員がその職務を代理する。

(招集等)

第5条 部会は部会長が招集し、部会長が議長となる。ただし、部会長が互選させる前に招集する部会は、会議の会長が招集する。

- 2 部会は、部会委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 部会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 部会長は、必要があると認めるときは、部会の議事に関係のある者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(会議への報告)

第7条 部会長は、部会の調査審議事項を会議に報告する。

(庶務)

第8条 部会の庶務は、子ども政策課において処理する。

(廃止)

第9条 部会は次に掲げる事項のいずれかに該当した場合、廃止するものとする。

- (1) 第2条各号に定める事項の調査審議が終了したとき。
- (2) 会議で部会廃止の決議がなされたとき。

(その他)

第10条 この要領に定めるもののほか、部会の運営その他に関し必要な事項は、部会長が別に定める。

附 則

この要領は、平成25年5月30日から施行する。

奈良市子ども・子育て会議 事業計画策定部会について

奈良市子ども未来部子ども政策課
平成25年8月9日

1. 部会を設置する目的について

1. 子ども・子育て会議の審議事項（子ども・子育て支援法第77条より引用）

（市町村等における合議制の機関）

第77条 市町村は、条例で定めるところにより、次に掲げる事務を処理するため、審議会その他の合議制の機関を置くよう努めるものとする。

- （1）特定教育・保育施設の利用定員の設定に関し、第31条第2項に規定する事項を処理すること。
- （2）特定地域型保育事業の利用定員の設定に関し、第43条第3項に規定する事項を処理すること。
- （3）市町村子ども・子育て支援事業計画に関し、**第61条第7項に規定する事項**を処理すること。
- （4）当該市町村における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議すること。

2～5 （略）



- （3）の「第61条」において、「市町村が定める子ども・子育て支援事業計画」が規定されている。

2. 子ども・子育て支援法第61条で規定されている事項と部会の設置

（市町村子ども・子育て支援事業計画）

第61条 市町村は、基本指針に即して、5年を1期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画（以下「市町村子ども・子育て支援事業計画」という。）を定めるものとする。

2～6 （略）

7 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ、第77条第1項の審議会その他の合議制の機関を設置している場合にあってはその意見を、その他の場合にあっては子どもの保護者その他子ども・子育て支援に係る当事者の意見を聴かなければならない。



- 市町村子ども・子育て支援事業計画は、記載内容が多岐に渡るだけでなく、平成26年度の中頃には計画素案をパブリックコメント手続に付さなければならないことから、奈良市版の事業計画の策定について集中的かつ効率的に議論するため、「奈良市子ども・子育て会議事業計画策定部会」を設置するものである。

(参考) 子ども・子育て支援法 第60条及び第61条

子ども・子育て支援法第60条(抄)及び第61条(抄)

(基本指針)

第60条 内閣総理大臣は、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制を整備し、子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施の確保その他子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するための基本的な指針を定めるものとする。

2～4 (略)

(市町村子ども・子育て支援事業計画)

第61条 市町村は、基本指針に即して、5年を1期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画(以下「市町村子ども・子育て支援事業計画」という。)を定めるものとする。

2 市町村子ども・子育て支援事業計画においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

(1) 市町村が、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域(以下「教育・保育提供区域」という。)ごとの当該教育・保育提供区域における各年度の特定教育・保育施設に係る必要利用定員総数、特定地域型保育事業所に係る必要利用定員総数その他の教育・保育の量の見込み並びに実施しようとする教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期

(2) 教育・保育提供区域ごとの当該教育・保育提供区域における各年度の地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期

(3) 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進に関する体制の確保の内容

3 市町村子ども・子育て支援事業計画においては、前項各号に規定するもののほか、次に掲げる事項について定めるよう努めるものとする。

(1) 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保に関する事項

(2) 保護を要する子どもの養育環境の整備、児童福祉法第4条第2項に規定する障害児に対して行われる保護並びに日常生活上の指導及び知識技能の付与その他の子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施策との連携に関する事項

(3) 労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携に関する事項

4 市町村子ども・子育て支援事業計画は、教育・保育提供区域における子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等及び地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向その他の事情を勘案して作成されなければならない。

5 市町村は、教育・保育提供区域における子ども及びその保護者の置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村子ども・子育て支援事業計画を作成するよう努めるものとする。

6 市町村子ども・子育て支援事業計画は、社会福祉法第107条に規定する市町村地域福祉計画、教育基本法第17条第2項の規定により市町村が定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画その他の法律の規定による計画であって子どもの福祉又は教育に関する事項を定めるものと調和が保たれたものでなければならない。

7 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ、第77条第1項の審議会その他の合議制の機関を設置している場合にあってはその意見を、その他の場合にあっては子どもの保護者その他子ども・子育て支援に係る当事者の意見を聴かなければならない。

8 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ、インターネットの利用その他の内閣府令で定める方法により広く住民の意見を求めることその他の住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

9 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ、都道府県に協議しなければならない。

10 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更したときは、遅滞なく、これを都道府県知事に提出しなければならない。

2. 事業計画策定部会の審議事項

1. 部会の所掌事項について（奈良市子ども・子育て会議 事業計画策定部会 設置要領より）

（所掌事項）

第2条 部会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- （1）利用希望の調査に関すること。
- （2）子ども・子育て支援法第61条第2項の規定に関すること。
- （3）子ども・子育て支援法第61条第3項の規定に関すること。
- （4）前3号のほか事業計画の策定に関連して検討を要すること。

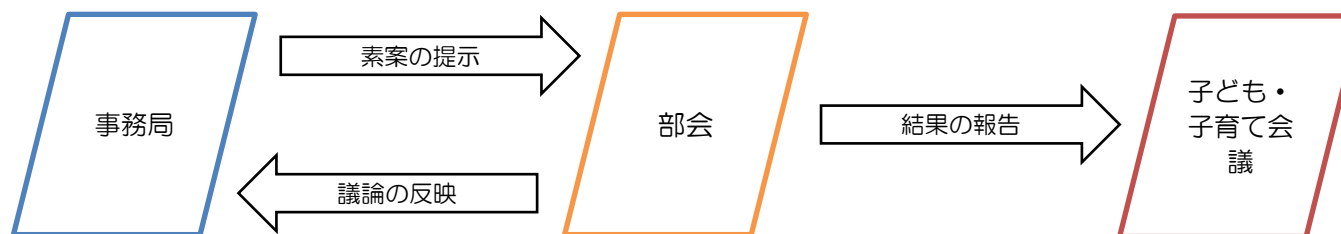


最終目標は、「奈良市版の子ども・子育て支援事業計画」を策定すること。その事業計画を策定するために、

- 子ども・子育て支援法第61条第4項に基づいて、ニーズ調査を実施する。（設置要領第2条（1））
- 中学校区をベースとした事業の「提供区域」を検討する。（設置要領第2条（2））
- ニーズ調査の結果を分析して、提供区域ごとの事業の「量の見込み」を検討する。（設置要領第2条（2））
- 量の見込みに対する利用定員等の「確保方策」を検討する。（設置要領第2条（2））
- その他、事業実施以外の記載事項を検討する。（設置要領第2条（3）・（4））

2. 部会の審議の方法について

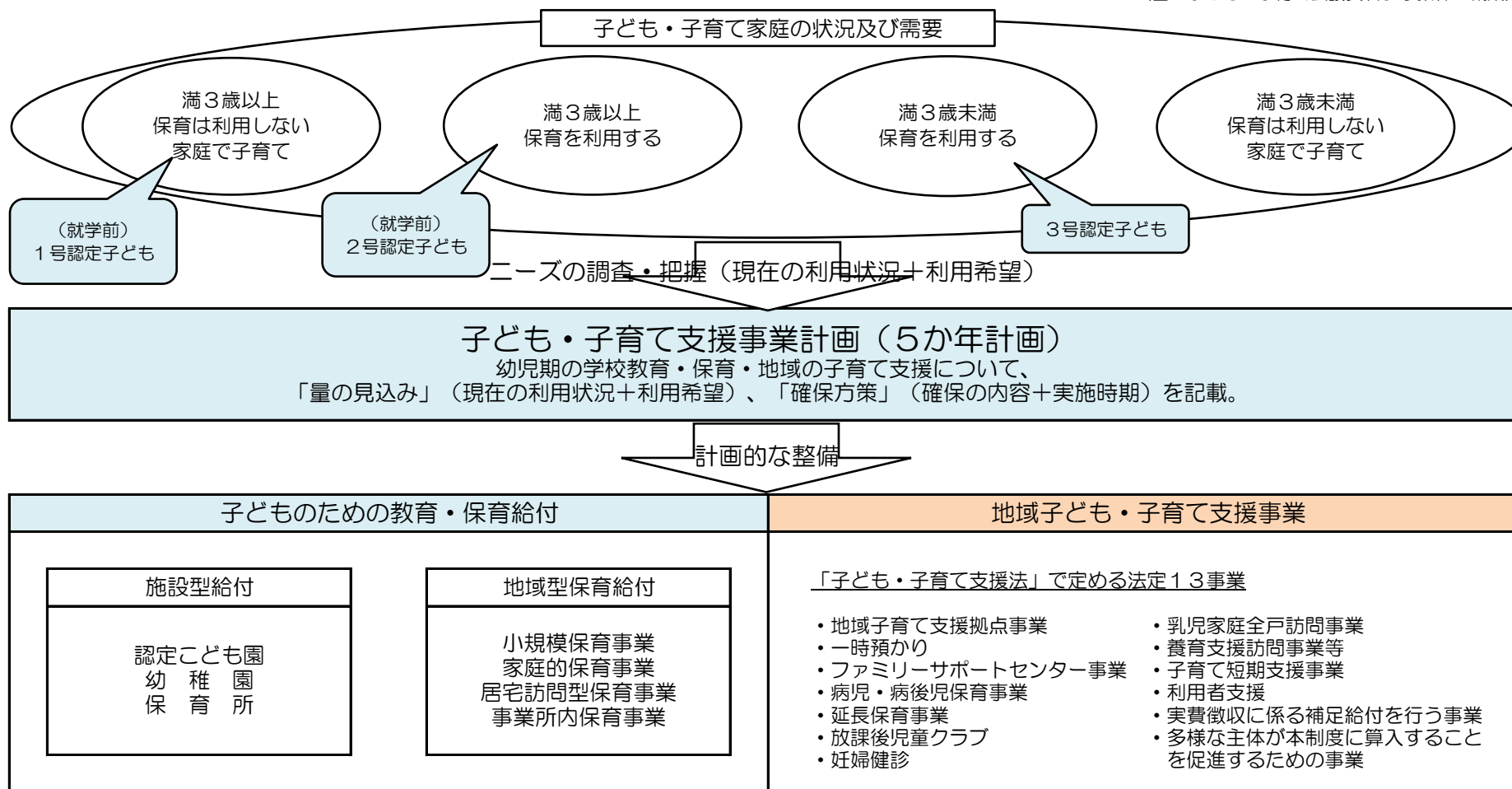
- 部会でご審議いただく事項については、事務局から素案又はたたき台等を提示して、議論の結果を反映させていく予定です。



3. 子ども・子育て支援事業計画のイメージ①（全体像）

○ 新制度の実施主体となる市町村が策定する「子ども・子育て支援事業計画」を簡単に表現すると、5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画のこと。

（国の子ども・子育て会議資料より抜粋・編集）



3. 子ども・子育て支援事業計画のイメージ②（記載事項）

- 市町村が策定する子ども・子育て支援事業計画には、基本的記載事項として、幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援について、市町村が定める区域ごとに、5年間の計画期間における「量の見込み」「確保の内容」「実施時期」を記載。
- あわせて、任意的記載事項として、都道府県が行う専門的な知識・技能を要する社会的養護等に係る支援との連携やワーク・ライフ・バランスに係る施策との連携等についても記載。

（国の子ども・子育て会議資料より抜粋・編集）

子ども・子育て支援事業計画に記載する事項

- 子ども・子育て支援事業計画に記載する事項については、「子ども・子育て支援法第61条第2項・第3項」に列挙されている。
→ 資料3ページ、4ページを参照

<必須記載事項>

- 区域の設定（第2項第1号）
- 各年度における幼児期の学校教育・保育の量の見込み、実施しようとする幼児期の学校教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期（第2項第1号）
- 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期（第2項第2号）
- 幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び当該学校教育・保育の推進に関する体制の確保の内容（第2項第3号）

<任意記載事項>

- 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保（第3項第1号）
- 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施設との連携（第3項第2号）
- 労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携（第3項第3号）

3. 子ども・子育て支援事業計画のイメージ③（ニーズの記載等）

○ 市町村が策定する子ども・子育て支援事業計画のポイント

→ 「量の見込み」（どれぐらい）、「確保の内容」（どうやって）、「実施時期」（いつまでに）

①量の見込み

- ・ 幼児期の学校教育・保育・地域子ども・子育て支援事業について、「現在の利用状況」**±利用希望**」を記載。
→ ニーズ調査を行い、利用希望を把握することが前提。

②確保の内容と実施時期

- ・ 幼児期の学校教育・保育について、施設（認定こども園・幼稚園・保育所）、地域型保育事業（家庭的保育事業等）による「確保の状況」を記載。
- ・ 「量の見込み」との差がある場合には、施設・地域型保育事業の整備が必要。
- ・ 地域子ども・子育て支援事業についても同様に、「確保の状況」を記載し、「量の見込み」との差がある場合には、事業の整備が必要。

（国の子ども・子育て会議資料より抜粋・編集）

事業計画に記載するイメージ

①区域設定

②幼児期の学校教育・保育

<量の見込み>

○教育のみ（3～5歳） ●●人
○保育の必要性あり（3～5歳） ●●人
○保育の必要性あり（0～2歳） ●●人

<確保の内容・実施時期>

○施設（認定こども園、幼稚園）で●●人分確保
○施設（認定こども園、保育所）で●●人分確保
○施設（認定こども園、保育所）、地域型保育事業（小規模等）で●●人分確保

不足がある
場合は整備

③地域子ども・子育て支援事業

地域子育て支援拠点事業、ファミリーサ
ポートセンター事業、一時預かり事業、
その他合計13事業

量の見込み

確保の内容
実施時期

不足があ
る場合は
整備

（X年度に●人分）

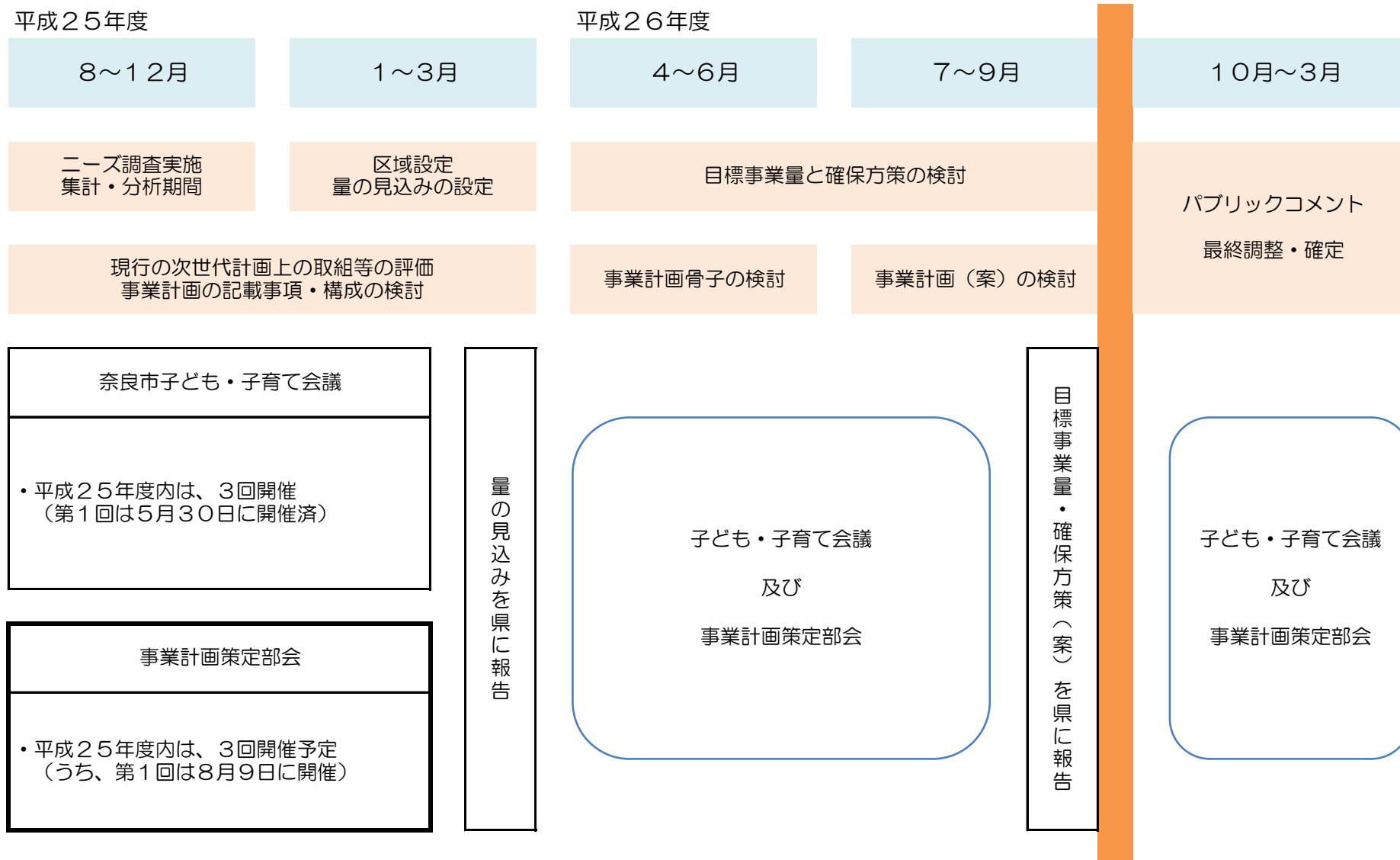
④認定こども園の普及、幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の推進方策に係る事項

⑤産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保

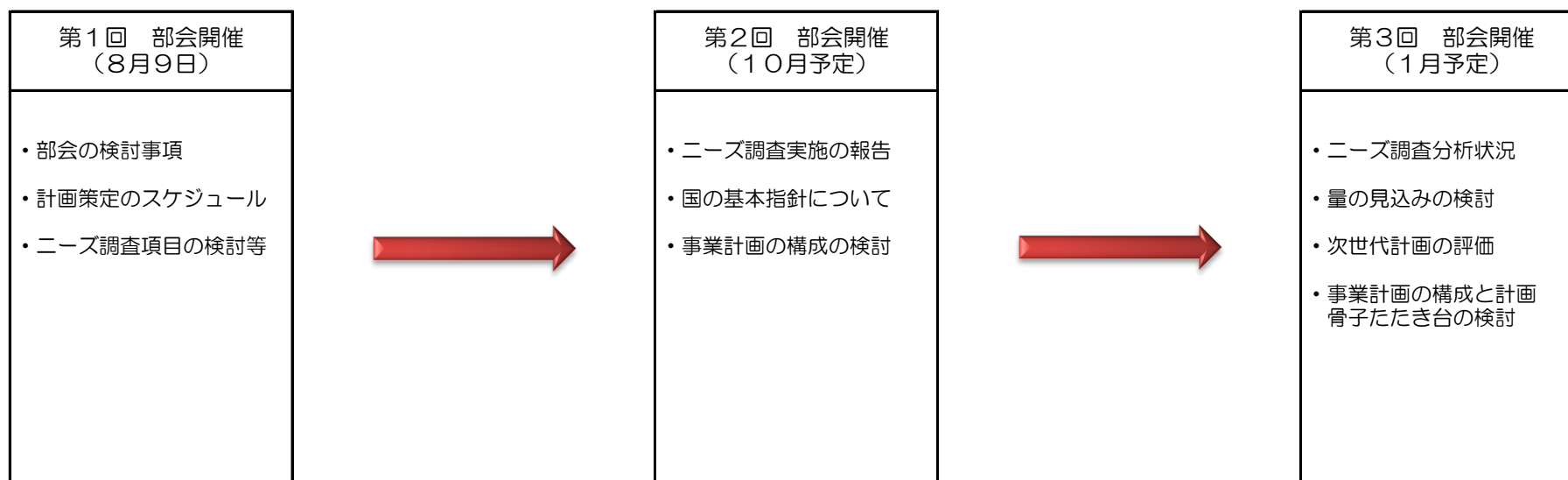
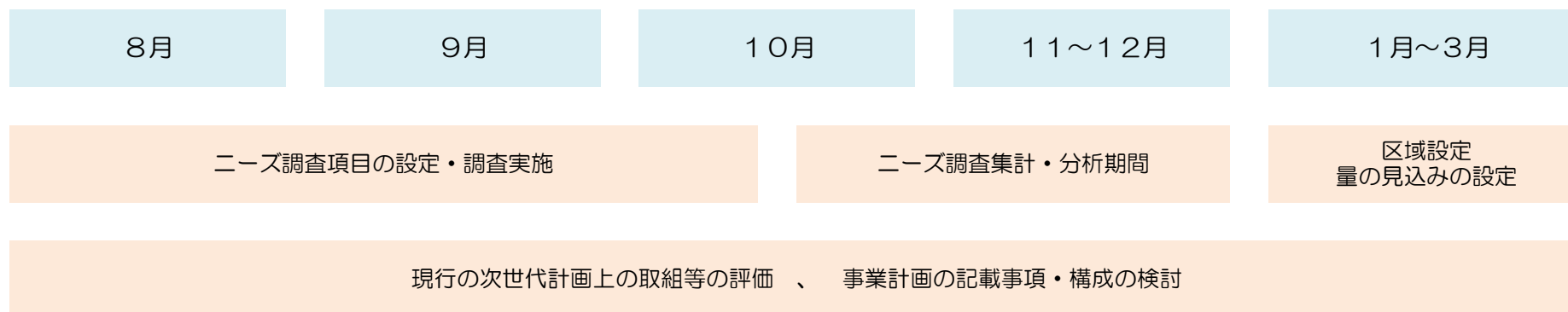
⑥子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施策との連携

⑦労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携

4. 事業計画策定までのスケジュールイメージ



5. 今年度にご審議いただく事項について（案）



※現段階の案であり、国の審議状況に変更する場合があります。

ニーズ調査項目の設計等について

奈良市子ども未来部子ども政策課
平成25年8月9日

1. ニーズ調査の趣旨について

- 市町村が策定する子ども・子育て支援事業計画（以下「事業計画」という。）は、本市の幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画（5か年計画）のこと。
- 事業計画の基礎となる「量の見込み」の設定に当たっては、子ども・子育て支援法及び同法に基づく基本指針において、「現在の利用状況」と「今後の利用希望」を踏まえて設定することとされている。
- 「今後の利用希望」を設定するためには、住民に対する利用希望の調査が必要であり、国の子ども・子育て会議において、これまで5回にわたり、市町村に提示する調査票の検討が行われた。
- なお、現行の次世代育成支援後期行動計画（計画期間：平成22年～平成26年度）の策定時においても、平成20年度に「奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施している。
- よって、事業計画策定のため、他市との比較や過去に実施した調査結果との経年比較が行えるように、基本的には国の調査票イメージに基づいてニーズ調査を実施する。

2. 実施する調査の概要について

（1）調査対象

対象者	配布数	想定回収率	調査票	H20調査時の実施状況
①就学前児童の保護者（0～2歳）	1,500	45%	20頁程度	（配布）2,381 （回収）48.2%
②就学前児童の保護者（3～5歳）	1,500	45%	20頁程度	
③小学生児童の保護者	2,000	45%	18頁程度	（配布）2,449 （回収）51.1%

※1 郵送による配布及び回収を行う。

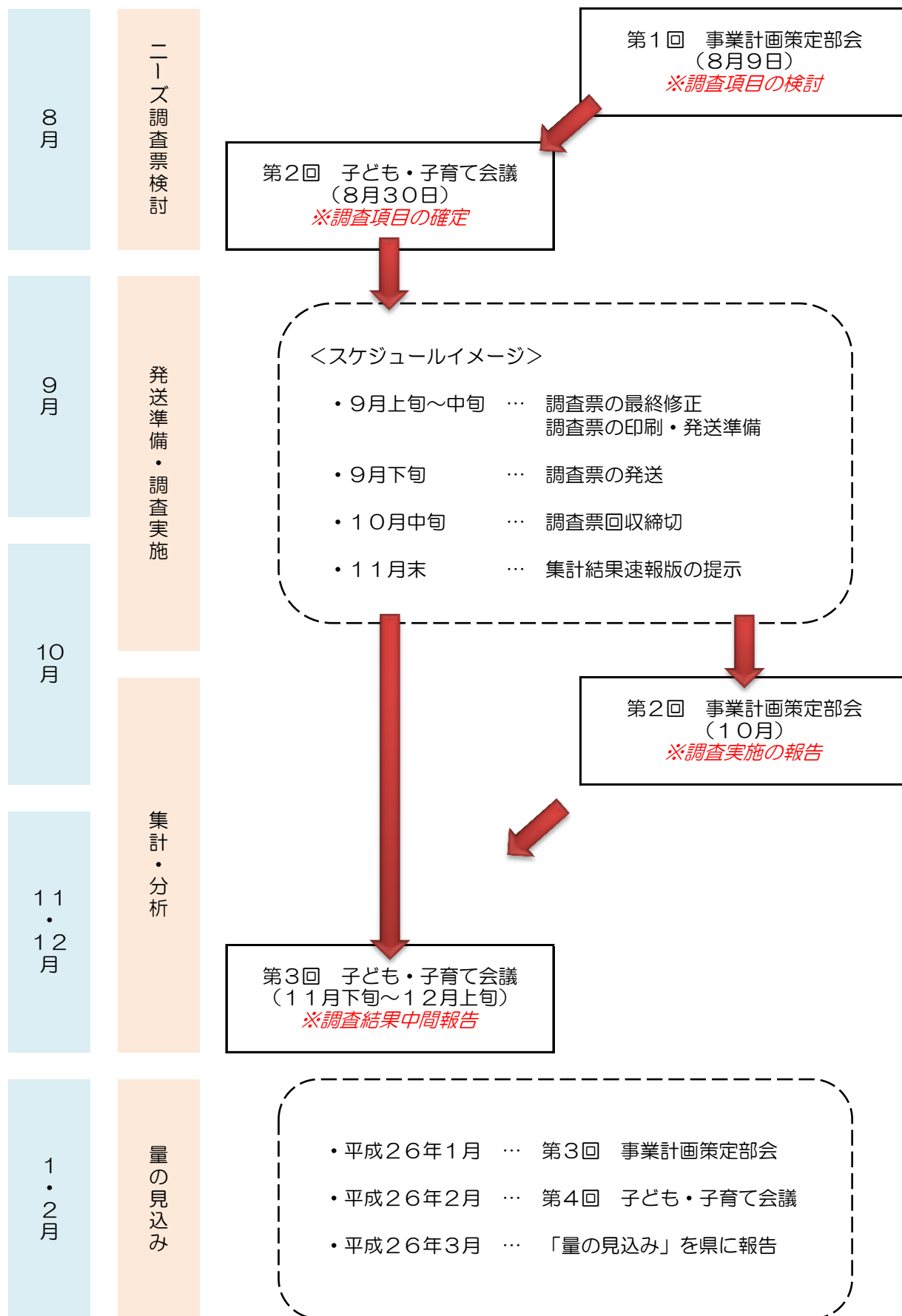
※2 回収率や調査票のボリュームは、現段階の想定。

（2）調査項目検討の前提

調査項目の検討に当たり、事務局の意向としては、

- 保護者が回答しやすいように、調査票は調査対象ごとに内容を変えて作成する。
- 設問等で使用する地域名や施設名、事業名については、本市で使用している名称に変更する等、対象者が判断しやすい名称に変更する。
- また、調査票の別添としてニーズ調査の目的や、設問等で使用する事業等の定義について記載した書類を添付する。
- 他市との比較や過去に実施した調査結果との経年比較が行えるように、基本的には国の調査票イメージに基づいてニーズ調査を実施する。
- ただし、「事業計画に記載する事項を補完するための項目」や「新制度に関連して追加すべき項目」、「現行の次世代育成支援行動計画策定時のニーズ調査との経年比較に必要な項目」等については、検討を行う。
- 参考として、現行の次世代育成支援行動計画策定時のニーズ調査で使用した調査票のボリュームは、就学前児童用が18頁で34問程度、就学児童用が16頁で31問程度。
- 本調査は「提供区域の設定」の基礎となるが、本市の就学前施設の配置に係る施策では中学校区をベースとしていることから、集計・分析においても中学校区を想定している。

(3) ニーズ調査のスケジュール



3. 国の検討状況について

国の子ども・子育て会議については、第1回が平成25年4月26日に開催され、以後7月までの間に計5回開催された。ニーズ調査に関しては、各市町村の事業計画に「量の見込み」が適切に設定されるように、利用希望の把握方法の雛形を提示し、各市町村はこの雛形を踏まえて具体的な内容を決定することとなっていることから、国の子ども・子育て会議では調査票のイメージが提示された上で、審議が行われている。

ニーズ調査に関する主な論点等は以下のとおり。

(1) 対象年齢について

- 新制度は、「幼児期の学校教育」・「保育」・「地域の子育て支援」が3本柱
 - ①「幼児期の学校教育」と「保育」 → 対象年齢は、就学前の子ども（0～5歳）
 - ②「地域の子育て支援」 → 対象年齢は、放課後児童クラブ（小学生）を除き、概ね就学前の子ども（0～5歳）
- ※就学児童については各市町村の任意

(2) 把握方法について

- 対象年齢の子どもがいる世帯へのアンケート調査 → 抽出調査が基本
- 具体的な抽出方法は、各市町村において設定

(3) 把握する具体的な項目

- 利用希望を把握する事業の区分は大きく2つのグループに分けて整理
 - ①「幼児期の学校教育」と「保育」 → 定期的に利用する事業
 - ②「地域の子育て支援」 → その都度の不定期で利用する事業
- 上記の区分に応じて「現在の利用状況」＋「今後の利用希望」を把握
- 「保育」は就労状況によって利用可否が変わるため、「今後の」就労希望を調査

(4) 検討に際して考慮すべき事項

- 次世代育成支援行動計画策定時のニーズ調査に関して、各市町村から寄せられた意見
 - ・実際の必要量よりも見込み量が多く出る傾向があった
 - ・「働きたい」と希望しても、実際の就労に結びつかないケースがある
 - ・実際に事業を利用する場合は利用料が発生する旨の記載がなかった
 - ・類似の機能を有する事業について、まとめずに事業ごとに利用希望を聞いていた
- 調査項目を増やしてきめ細かな調査をしたいという自治体と、項目を絞ってわかりやすくしたい（簡略で回答しやすい調査）という自治体の双方あり
 - ・量の見込みの推計上必要な項目（全国共通）を明確化しつつ、必要に応じて、項目を追加、あるいは絞り込みができるような仕組みが必要

4. 調査項目の視点について

(1) 就学前児童の保護者対象の調査項目

把握する事項	設問 No	国の調査票イメージでの調査項目（資料5）	設問の有無		H20調査票 （資料6）
			0～2	3～5	
①居住地域	1	居住地区	○	○	問6
②子どもと 家族の状況	2	子どもの生年月	○	○	問1
	3	きょうだい数・末子の生年月	○	○	問2
	4	回答者の続柄	○	○	
	5	回答者の配偶者の有無	○	○	
	6	子育て（教育を含む）を主に行う者	○	○	問5
③子どもの育ちを めぐる環境	7	子育て（教育を含む）に日常的に関わっている者（施設）	○	○	
	8	子育て（教育を含む）にもっとも影響する環境	○	○	
	9	子どもを預けることができる親族・知人の有無	○	○	問4
	9-1	親族に子どもを預ける時の心配	○	○	問4-1
	9-2	知人に子どもを預ける時の心配	○	○	問4-2
	10	子育て（教育を含む）についての相談相手の有無・場所	○	○	問27
	10-1	子育て（教育を含む）について相談できる相手・場所	○	○	問27
④保護者の就労状 況	11	周囲からのサポートに対する希望（自由記入）	○	○	
	12	母親・父親の現在の就労状況	○	○	問7
	12-1	母親・父親の就労日数・時間	○	○	
	12-2	出発・帰宅の時刻	○	○	
	13	母親・父親のフルタイムへの転換希望	○	○	
⑤平日の定期的な 教育・保育事業の 利用状況	14	未就労の母親・父親の就労希望	○	○	問8,8-1,3
	15	定期的な教育・保育事業の利用の有無	○	○	問10
	15-1	利用している定期的な教育・保育施設や事業	○	○	問10-1
	15-2	定期的な教育・保育事業の利用日数と時間	○	○	問10-2
	15-3	利用している定期的な教育・保育施設や事業の場所	○	○	
	15-4	定期的な教育・保育事業を利用している理由	○	○	問10-3
	15-5	定期的な教育・保育事業を利用していない理由	○	○	問10-4
	16	定期的に利用したい教育・保育事業の希望	○	○	問11
⑥地域の子育て支 援事業の利用状況	16-1	定期的な教育・保育事業を利用したい場所	○	○	
	17	地域子育て支援拠点事業の利用と頻度	○	○	問20
	18	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	○	○	問21
⑦土日・長期休暇 中の定期的な教 育・保育事業の利 用希望	19	その他子育て支援事業・取組の認知度や利用希望	○	○	問22
	20	土日・祝日の教育・保育事業の利用希望	○	○	問12
	20-1	土日・祝日の教育・保育事業を毎週利用しない理由	○	○	
	21	長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）	×	○	
⑧病気の際の対応	21-1	長期休暇中の教育・保育事業を毎週利用しない理由（幼稚園利用者）	×	○	
	22	病気で定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験の有無	○	○	問13
	22-1	病気で定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処	○	○	問13-1
	22-2	病児・病後児保育の利用希望の有無	○	○	問13-2
	22-3	病児・病後児保育の事業形態の希望	○	○	
	22-4	病児・病後児保育を利用したくない理由	○	○	
	22-5	病気の場合に保護者が仕事を休んで子どもをみたいかどうか	○	○	
	22-6	保護者が休んで子どもをみたくない場合の理由	○	○	

※ 色付きの設問は、国が「量の見込み」の推計上必要な項目として全国共通化しているもの

⑨不定期の教育・保育事業等の利用	23	不定期の教育・保育事業の利用の有無と利用日数	○	○	問14
	23-1	不定期の教育・保育事業を利用していない理由	○	○	
	24	不定期の教育・保育事業の利用希望と利用日数	○	○	問15
	24-1	不定期の教育・保育事業の事業形態の希望	○	○	
	25	泊りがけで家族以外に預けなくてはならなかった場合の対処等	○	○	問16,16-1
	25-1	泊りがけで家族以外に預けなくてはならなかった場合の困難度	○	○	問16-2
⑩小学校就学後の放課後の過ごし方	26	小学校低学年の間の放課後を過ごす場所の希望	×	○	問17
	27	小学校高学年の間の放課後を過ごす場所の希望	×	○	問17
	28	放課後児童クラブの土日・祝日の利用希望	×	○	
	29	放課後児童クラブの長期休暇中の利用希望	×	○	
⑪職場の両立支援	30	母親・父親の育児休業の取得状況	○	○	問23
	30-1	育児休業給付等の制度の認知状況	○	○	
	30-2	育児休業取得後の職場への復帰状況	○	○	
	30-3	育児休業から職場へ復帰したタイミング	○	○	
	30-4	職場復帰した時の子どもの年齢と希望	○	○	問23-1
	30-5	3歳まで育児休業がある場合の取得期間の希望	○	○	
	30-6	希望の時期に職場復帰しなかった理由	○	○	
	30-7	短時間勤務制度の利用の有無	○	○	
	30-8	短時間勤務制度を利用しなかった理由	○	○	
	30-9	1歳で必ず預けられる施設がある場合の育児休業の取得希望	○	○	
⑫その他	31	本市の子育て支援施策に関する意見（自由記述）	○	○	問34

※ 色付きの設定問は、国が「量の見込み」の推計上必要な項目として全国共通化しているもの

（２）就学児童の保護者対象の調査項目

把握する事項	設問 No	国の調査票イメージでの調査項目（資料５）	設問 有無	H20調査票 （資料７）
①居住地域	1	居住地区	○	問6
②子どもと家族の状況	2	子どもの生年月	○	問1
	3	きょうだい数・末子の生年月	○	問2
	4	回答者の続柄	○	
	5	回答者の配偶者の有無	○	
	6	子育て（教育を含む）を主に行う者	○	問5
③子どもの育ちをめぐる環境	7	子育て（教育を含む）に日常的に関わっている者（施設）	○	
	8	子育て（教育を含む）にもっとも影響する環境	○	
	9	子どもを預けることができる親族・知人の有無	○	問4
	9-1	親族に子どもを預ける時の心配	○	問4-1
	9-2	知人に子どもを預ける時の心配	○	問4-2
	10	子育て（教育を含む）についての相談相手の有無・場所	○	問22
	10-1	子育て（教育を含む）について相談できる相手・場所	○	問22
④保護者の就労状況	11	周囲からのサポートに対する希望（自由記入）	○	
	12	母親・父親の現在の就労状況	○	問7
	12-1	母親・父親の就労日数・時間	○	
	12-2	出発・帰宅の時刻	○	
	13	母親・父親のフルタイムへの転換希望	○	
	14	未就労の母親・父親の就労希望	○	問8,8-1,3

※ 色付きの設定問は、国が「量の見込み」の推計上必要な項目として全国共通化しているもの

⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	15	定期的な教育・保育事業の利用の有無	×	放課後児童クラブ（ハンビーホーム）の利用について 設問設定
	15-1	利用している定期的な教育・保育施設や事業	×	
	15-2	定期的な教育・保育事業の利用日数と時間	×	
	15-3	利用している定期的な教育・保育施設や事業の場所	×	
	15-4	定期的な教育・保育事業を利用している理由	×	
	15-5	定期的な教育・保育事業を利用していない理由	×	
	16	定期的に利用したい教育・保育事業の希望	×	
	16-1	定期的な教育・保育事業を利用したい場所	×	
⑥地域の子育て支援事業の利用状況	17	地域子育て支援拠点事業の利用と頻度	×	
	18	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	×	
	19	その他子育て支援事業・取組の認知度や利用希望	○	問18
⑦土日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	20	土日・祝日の教育・保育事業の利用希望	×	
	20-1	土日・祝日の教育・保育事業を毎週利用しない理由	×	
	21	長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）	×	
	21-1	長期休暇中の教育・保育事業を毎週利用しない理由（幼稚園利用者）	×	
⑧病気の際の対応	22	病気で定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験の有無	○	問11
	22-1	病気で定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処	○	問11-1
	22-2	病児・病後児保育の利用希望の有無	○	問11-2
	22-3	病児・病後児保育の事業形態の希望	○	
	22-4	病児・病後児保育を利用したくない理由	○	
	22-5	病気の場合に保護者が仕事を休んで子どもをみたいかどうか	○	
	22-6	保護者が休んで子どもをみたくない場合の理由	○	
⑨不定期の教育・保育事業等の利用	23	不定期の教育・保育事業の利用の有無と利用日数	○	問12
	23-1	不定期の教育・保育事業を利用していない理由	○	
	24	不定期の教育・保育事業の利用希望と利用日数	○	問13
	24-1	不定期の教育・保育事業の事業形態の希望	○	
	25	泊りがけで家族以外に預けなくてはならなかった場合の対処等	○	問14,14-1
	25-1	泊りがけで家族以外に預けなくてはならなかった場合の困難度	○	問14-2
⑩小学校就学後の放課後の過ごし方	26	小学校低学年の間の放課後を過ごす場所の希望	○	問10,25等で 類似設問あり
	27	小学校高学年の間の放課後を過ごす場所の希望	○	
	28	放課後児童クラブの土日・祝日の利用希望	○	
	29	放課後児童クラブの長期休暇中の利用希望	○	
⑪職場の両立支援	30	母親・父親の育児休業の取得状況	○	
	30-1	育児休業給付等の制度の認知状況	○	
	30-2	育児休業取得後の職場への復帰状況	○	
	30-3	育児休業から職場へ復帰したタイミング	○	
	30-4	職場復帰した時の子どもの年齢と希望	○	
	30-5	3歳まで育児休業がある場合の取得期間の希望	○	
	30-6	希望の時期に職場復帰しなかった理由	○	
	30-7	短時間勤務制度の利用の有無	○	
	30-8	短時間勤務制度を利用しなかった理由	○	
	30-9	1歳で必ず預けられる施設がある場合の育児休業の取得希望	○	
⑫その他	31	本市の子育て支援施策に関する意見（自由記述）	○	問31

※ 色付きの設問は、国が「量の見込み」の推計上必要な項目として全国共通化しているもの

5. 今回ご検討いただきたい論点について

(1) レイアウトに関する事項

・表紙について

(国の調査票イメージ)

文章量が多く、かつ内容が専門的で難しいため、保護者に圧迫感を与える恐れがある。



＜事務局案＞

表紙を別紙として、その表面上段に、新制度やニーズ調査の趣旨を記載して、下段に記入の仕方を記載する。裏面には認定こども園等の施設・事業の用語説明を記載する。また、イラストを使用することで、視覚的な圧迫感を軽減する。

・設問テーマの順番について

(国の調査票イメージ)

把握しようとする事項について、定期的に利用する事業と不定期で利用する事業等が混在しているため、流れがわかりにくい。



＜事務局案＞

特にこの資料の5～7ページに記載している把握事項の⑤～⑨がわかりにくいので、例えば、⑤平日定期の教育・保育→⑦土日長期休暇の定期の教育・保育→⑨不定期の教育・保育→⑧病気の際の対応→⑥地域の子育て支援事業、という順番に変更してみてもどうか。

・設問文の表記について

(国の調査票イメージ)

例えば、「当てはまる番号すべてに○をつけてください」、「当てはまる番号1つに○をつけてください」のように、設問文が長い点が見受けられる。



＜事務局案＞

設問の意図が変わらない範囲で平易な文章として、その最後に「(1つに○)」のような表記に変更して少しでも読みやすくする。

・利用料の記載方法について

(国の調査票イメージ)

例えば、調査票イメージ10ページの問16のように、施設・事業の利用を聞く際に、自治体の料金設定を示すような記載がある。



＜事務局案＞

費用負担を示すことで、利用希望を精査する意図は理解できるが、施設ごとで利用料が異なるケースが多いことや、利用料を丁寧に記載することでかえってページ数の増加につながるため、「実際に利用する際には料金が発生する、しない」という旨を記載するだけでよいのではないか。

(2) 設問の追加に関する事項

・認定こども園等について

＜事務局案＞

本市の認定こども園、幼稚園、保育所については、通園の面で利便性が良いとは言えない。その中でも公立施設については、「幼保再編」ということで認定こども園への統合・再編を計画しており、駐車場の必要性等、通園手段や時間については今後検討すべき課題となることから、認定こども園、幼稚園、保育所に通っている子どもの通園手段や時間等について把握しておく必要があるのではないか。

・利用者支援について

＜事務局案＞

新制度において「利用者支援」に関する事業が法定化されたように、その重要性が増しているが、国の調査票イメージでは利用者支援につながる設問があまり見受けられない。そのため、次世代計画策定時のニーズ調査の項目にあった「子育ての不安と悩み」や「子育てに関する情報」を追加して、経年の変化を把握することにより、「利用者支援」の希望を把握してみてはどうか。

(3) 各委員からのご意見等に関する事項

・資料8を参照

調査票のイメージ

- 子ども・子育て会議（第4回）の資料1～3についていただいたご意見を踏まえて加筆修正を加えたもの
- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

※ 第4回子ども・子育て会議の議論を赤字で反映

※ 量の見込みの推計上必要な項目を青字で表記

（注）施設・事業の名称についてそれぞれの地域で親しまれている名称とするなど、回答者にとって分かりやすい名称に変更することも可能。

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

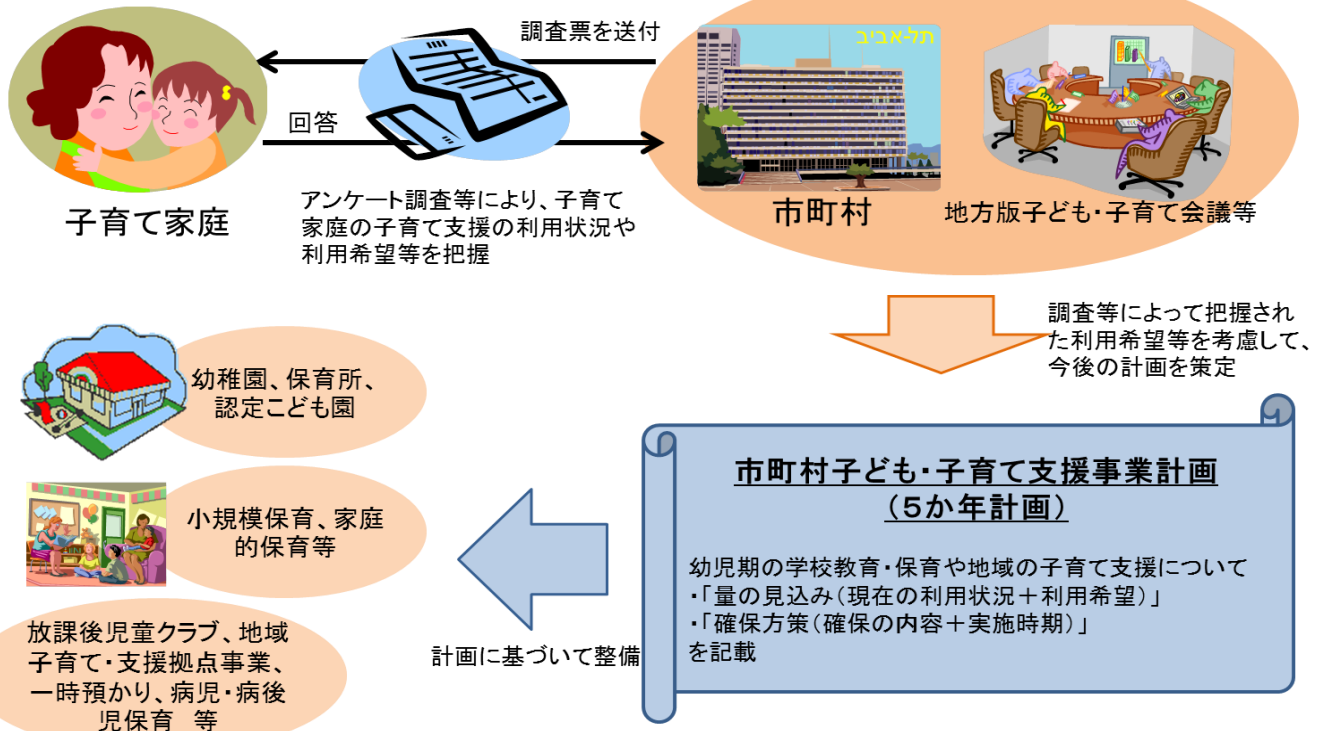
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. ○○ | 2. ○○ | 3. ○○ |
| 4. ○○ | 5. ○○ | 6. ○○ |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

平成 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □人 末子の生年月月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|---------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|---------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|---------------------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|---------------------------------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|--------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 8. その他（ ） | | | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------------------------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ ） | | | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------------|---------|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | } |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒ 問9-2へ | |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ | | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問10へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ ） | |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問11へ |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ ） | |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問11へ |
|------------------------|-----------------------|

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）	

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1) -1 へ
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ (2) へ
6. これまで就労したことがない	

（１）-1 （１）で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、
１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない
場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入
る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

１週当たり □ 日	１日当たり □ □ 時間
-----------	--------------

（１）-2 （１）で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を
お答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）０８
時～１８時のように、２４時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に
一字。）

家を出る時刻 □ □ 時	帰宅時刻 □ □ 時
--------------	------------

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2) -1 へ
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問 14 へ
6. これまで就労したことがない	

- (2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり □日

1日当たり □□時間

- (2) -2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻 □□時

帰宅時刻 □□時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|-----------------------------|---|
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | } |
| イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) | |
| →1週当たり □日 1日当たり □□時間 | |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|-----------------------------|---|
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | } |
| イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) | |
| →1週当たり □日 1日当たり □□時間 | |

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用)</p> | <p>2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)</p> |
| <p>3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)</p> | <p>4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)</p> |
| <p>5. 家庭的保育
(育者の家庭等で子どもを保育する事業)</p> | <p>6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)</p> |
| <p>7. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)</p> | <p>8. その他の認可外の保育施設</p> |
| <p>9. 居宅訪問型保育
(保育者が子どもの家庭で保育する事業)</p> | <p>10. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)</p> |
| <p>11. その他 ()</p> | |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、□内に具体的な数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □ 日

1 日当たり □□ 時間 (□□ 時～ □□ 時)

(2) 希望

1 週当たり □ 日

1 日当たり □□ 時間 (□□ 時～ □□ 時)

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内

2. 他の市区町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（)

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（)

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（自治体における料金設定を示す）

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	
12. その他 ()	

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回程度
3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に ☐ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
○○○○○	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
○○○○○	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（１）土曜日

- | | | | |
|---|---|---|-------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に１～２回は利用したい | } | ⇒ | 利用したい時間帯
□□時から □□時まで |
|---|---|---|-------------------------|

（２）日曜・祝日

- | | | | |
|---|---|---|-------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に１～２回は利用したい | } | ⇒ | 利用したい時間帯
□□時から □□時まで |
|---|---|---|-------------------------|

問 20-1 問 20 の（１）もしくは（２）で、「3. 月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ ） | |

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | | |
|--|---|---|-------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい | } | ⇒ | 利用したい時間帯
□□時から □□時まで |
|--|---|---|-------------------------|

問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ ） | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった

⇒ 問 22-1 へ

2. なかった

⇒ 問 23 へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1 年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ケ. その他 ()	□□ 日

※「キ.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 22-3 へ

2. 利用したいとは思わない

⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. **他の施設**（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. **地域住民等**が子育て**家庭等**の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ()

⇒ 問 23 へ

⇒ 問 22-5 へ

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよい
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

⇒ 問23へ

問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1
つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入
 ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□ 日 ⇒ 問23へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問22-6へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで見ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を

伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

⇒ 問 24 へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 24-1 $\wedge$

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□□ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ. その他（ ）	□□ 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 ☐ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 ☐ 日くらい
4. 児童館 ※1	週 ☐ 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 ☐ 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 ☐ 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 ☐ 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 ☐ 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 ☐ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 ☐ 日くらい
4. 児童館 ※	週 ☐ 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 ☐ 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 ☐ 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 ☐ 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 ☐ 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに ○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問30-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|---|
| <p>1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた</p> <p>2. 育児休業給付のみ知っていた</p> <p>3. 保険料免除のみ知っていた</p> <p>4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった</p> |
|---|

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

(2) 父親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
-------------------------	------------------------------------

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
-------------------------	------------------------------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問 30-7 で「2.短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問 31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

就学前児童調査票

1. 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についておうかがいします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をおうかがいします。

平成____年____月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）を記入してください。

____人 末子の年齢____歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。また同居・近居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数を記入してください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） |
| 3. 母同居（ひとり親家庭） | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他（ ） |

【家族全員で（ ）人（ご両親とお子さんを含む全員の人数）】

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問4-1 は、問4で「1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」を選ばれた方におうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、おうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他（ ） |

問 4-2 は、問 4 で「3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」を選ばれた方におうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問 4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、おうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 () |

問 5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 |
| 3. 主に祖父母 | 4. その他 () |

問 6 お住まいの小学校区はどこですか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。小学校区がわからない方は、お住まいの町名を回答欄の最後にある () 内に記入してください。

- | | | | | | |
|----------|----------|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 椿井 | 2. 飛鳥 | 3. 鼓阪 | 4. 済美 | 5. 佐保 | 6. 大宮 |
| 7. 都跡 | 8. 大安寺 | 9. 東市 | 10. 平城 | 11. 辰市 | 12. 明治 |
| 13. 帯解 | 14. 精華 | 15. 伏見 | 16. 富雄南 | 17. 富雄北 | 18. 田原 |
| 19. 柳生 | 20. 大柳生 | 21. 相和 | 22. あやめ池 | 23. 鶴舞 | 24. 鳥見 |
| 25. 登美ヶ丘 | 26. 六条 | 27. 青和 | 28. 右京 | 29. 東登美ヶ丘 | 30. 二名 |
| 31. 西大寺北 | 32. 富雄第三 | 33. 平城西 | 34. 大安寺西 | 35. 三碓 | 36. 神功 |
| 37. 朱雀 | 38. 済美南 | 39. 鼓阪北 | 40. 伏見南 | 41. 佐保台 | 42. 佐保川 |
| 43. 左京 | 44. 月ヶ瀬 | 45. 並松 | 46. 都祁 | 47. 吐山 | 48. 六郷 |

ご住所 (奈良市 _____ 町)

2. 封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についておうかがいします。

問7 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字を記入してください。

（1）父親

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）
→ 1週あたりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、1日あたり〔 〕時間】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【1. 希望がある 2. 希望があるが予定はない 3. 希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2）母親

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）
→ 1週あたりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、1日あたり〔 〕時間】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【1. 希望がある 2. 希望があるが予定はない 3. 希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問8は、問7の「（2）母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の「1～3」を選ばれた方は、問9へお進みください。

問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. ある（すぐにでも、もしくは、1年以内に希望がある）（→問8-1へ）
2. ある（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）（→問8-1へ）
3. ない（→問9へ）

問 8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は1週あたりの日数および1日あたりの時間も記入してください。)

- 問 8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。最も近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。(各保育サービスの定義や内容については、別紙・あいさつ文裏面の説明をご覧ください。)

- 問 8-3 は、問 8 で「2. ある（1 年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方におうかがいします。

歳になったとき

問9 封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる
 答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 問 9-1 は、問 9 で「1. 離職した」を選ばれた方におうかがいします。「2. 継続的に働いていた（転職も含む）」「3. 出産 1 年前にすでに働いていなかった」を選ばれた方は問 10 にお進みください。

問 9-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えに最も近い答えの番号に 1 つだけに○をつけてください。（各保育サービスの定義や内容については、別紙・あいさつ文裏面の説明をご覧ください。）

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働きつづけやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家庭の考え方（親族の理解が得られない）等の理由により就労することができない
5. いずれにしてもやめていた
6. その他（ ）

3. 保育サービスの利用についておうかがいします。

問 10 はすべての方におうかがいします。

問 10 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービスの利用の有無についておうかがいします。日ごと、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していच्छいますか。

1. 利用している（→問 10-1 へ）
2. 利用していない（→問 10-4 へ）

問 10-1～3 は、問 10 で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

問 10-1 封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような保育サービスを利用していますか。不定期に利用されているものも含めてお答えください。次の中から、利用されている番号すべてに○をつけてください。（各保育サービスの定義や内容については、別紙・あいさつ文裏面の説明をご覧ください。）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 認可保育所 | 2. 家庭的な保育 |
| 3. 事業所内保育施設 | 4. 自治体の認証・認定保育施設 |
| 5. 認定こども園（短時間利用） | 6. 認定こども園（長時間利用） |
| 7. その他の保育施設 | 8. 幼稚園（通常の就園時間） |
| 9. 幼稚園の預かり保育 | 10. ベビーシッター |
| 11. ファミリーサポートセンター | |

問 10-2 および問 10-3 は、問 10-1 で「1」～「9」の選択肢を選ばれた方におうかがいします。

問 10-2 現在の保育サービスの利用状況についておうかがいします。

1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用していच्छいますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように 24 時間制で記入してください。

1 週あたり ____ 日、1 日あたり ____ 時間（ ____ 時～ ____ 時）

問 10-3 利用されている理由についておうかがいします。主な理由の番号に 1 つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障がいをもっている
5. 学生である
6. 1～5 までの事情はないが、子どもの教育のため
7. その他（ ）

問 10-4 は、問 10 で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

問 10-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号に 1 つだけ○をつけてください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら預けようと考えている
9. 0 歳児には月齢の制約があるため、利用できない
10. その他（ ）

サービスの利用希望について、すべての方におうかがいします。

問 11 封筒のあて名のお子さんに関して今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号をすべて選んで○をつけてください。(各保育サービスの定義や内容については、別紙・あいさつ文裏面の説明をご覧ください。)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 認可保育所 | 2. 家庭的な保育 |
| 3. 事業所内保育施設 | 4. 自治体の認証・認定保育施設 |
| 5. 認定こども園（短時間利用） | 6. 認定こども園（長時間利用） |
| 7. その他の保育施設 | 8. 幼稚園（通常の就園時間） |
| 9. 幼稚園の預かり保育 | 10. 延長保育 |
| 11. ベビーシッター | 12. ファミリーサポートセンター |
| 13. 一時預かり | 14. 病児・病後児保育 |
| 15. 特にない | |

4. あて名のお子さんの病児・病後児保育についておうかがいします。

問 13 保育サービスを利用している保護者の方におうかがいします。この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。(各保育サービスの定義や内容については、別紙・あいさつ文裏面の説明をご覧ください。)

1. あった (→問 13-1.2 へ)
2. なかった (→問 14 へ)

この 1 年間の、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問 13-1 この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても 1 日としてカウントしてください。)

1. 父親が休んだ (日) (→問 13-2 へ)
2. 母親が休んだ (日) (→問 13-2 へ)
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた (日) (→問 13-2 へ)
4. 就労していない保護者がみた (日)
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した(保育所で実施しているサービスを含む) (日)
6. ベビーシッターを頼んだ (日)
7. ファミリーサポートセンターにお願いした (日)
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた (日)
9. その他 () (日)

問 13-2 問 13-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」「3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどのくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

できれば施設等に預けたい (日)

5. すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのことについておうかがいします。

問 14 この 1 年間で、私用(買い物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても 1 日としてカウントしてください。)

1. ある → 年間 日
(理由別)
 - ①私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的 (日)
 - ②冠婚葬祭、子どもの親の病気 (日)
 - ③就労 (日)
2. ない

問 15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい

6. すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについておうかがいします。

問 16 この 1 年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）（→問 16-1.2 へ）
2. なかった（→問 17 へ）

問 16-1 この 1 年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. （同居者を含む）親族・知人に預けた（ ）泊（→問 16-2 へ）
2. 保育サービス（ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した（ ）泊
3. 仕方なく子どもも同行させた（ ）泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた（ ）泊
5. その他（ ）（ ）泊

問 16-2 問 16-1 で「1.（同居者を含む）親族・知人に預けた」を選んだ方におうかがいします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

7. 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方におうかがいします。

問 17 あて名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用したいと思いませんか。

【バンビーホーム（放課後児童クラブ）…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（概ね 10 歳未満）の生活の場を提供するものです。】

1. 利用したい（→週____日くらい）
2. 利用予定はない

8. すべての方に、ベビーシッターの利用についておうかがいします。

ベビーシッターを利用していらっしゃる方におうかがいします。

問 18 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてを選んで○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他（ ）

問 18-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

9. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についておうかがいします。

問 19 男女共同参画センター「あすなら」内にあるファミリーサポートセンター（会員制による子どもの一時預かりを主とした相互援助活動）を利用していますか。

- | |
|---|
| 1. 利用している（→問 19-1.2.3.5 へ）
2. 利用していない（→問 19-4.5 へ） |
|---|

問 19-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてを選んで○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
4. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
5. 保育施設等の送り迎えに利用している
6. その他（ ）

問 19-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

問 19-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

問 19-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

問 19-5 すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用について、実施してほしいサービス（援助活動）等のご希望がありましたら、自由に記入してください。

10. すべての方におうかがいします。

問 20 封筒のあて名のお子さんは、現在、「つどいの広場」、「地域子育て支援センター」、「子育てスポット」を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。

1. つどいの広場 1 週あたり ____ 回
2. 地域子育て支援センター 1 週あたり ____ 回
3. 子育てスポット 1 月あたり ____ 回
4. 利用していない

「つどいの広場」…主に 3 歳未満の親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、市内には奈良市つどいの広場として「こもれび」、「ぷらんぷらん」、「ノル」があります。

「地域子育て支援センター」…地域の子育て支援情報の提供を受けたり、専任のスタッフから子育てに関するアドバイスを受けたり、相談できる場で、市内には奈良市地域子育て支援センターとして佐保山保育園内、男女共同参画センターあすなら内、中登美保育園内にあります。

「子育てスポット」…月に 1~2 回、幼稚園や公民館等の公共施設で親子が集まり、語り合い、情報交換や相談をおこなう場で、市内には奈良市子育てスポットとしてミルクハートミルク、天使の広場、いないいないばあ、育児サロンおびとけ、あいあい、ぽかぽか組、つげ子育て広場、月ヶ瀬親子で遊ぼう、ぽっぽの会ジュニア、はあと、ぱふの 11 箇所があります。

問 21 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字を記入してください。

1. つどいの広場 1 週あたり ____ 回
2. 地域子育て支援センター 1 週あたり ____ 回
3. 子育てスポット 1 月あたり ____ 回
4. 今後も利用しない

問 21-1 現在利用していない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。

	もの A. 知っている	あるもの B. これまでに 利用したことが	たいもの C. 今後利用し
①母親教室			
②保健センターの情報・相談サービス			
③家庭教育に関する講座・講演会			
④教育相談センター・教育相談室			
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放（子育て相談も含む）			
⑥児童館			
⑦子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）			
⑧市が発信している子育て支援情報			

11. 育児休業制度の利用についておうかがいします。

問 23 封筒のあて名のお子さんについて、母親または父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 母親が利用した (→問 23-1. 2 へ)
2. 父親が利用した (→問 23-1. 2 へ)
3. 母親と父親の両方が利用した (→問 23-1. 2 へ)
4. 利用しなかった

問 23-1 および問 23-2 は、母親または父親が育児休業を取得されていた方についておうかがいします。

問 23-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字で記入してください。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問 23 で「3. 母親と父親の両方が利用した」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰されたときについてお答えください。)

子どもは____ヶ月だった

問 23-2 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 育児休業期間を調整せずにできた
2. 育児休業期間を調整したのでできた (問 23-3 へ)
3. できなかった (問 23-4 へ)
4. 希望しなかった

問 23-3 問 23-2 で「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選ばれた方におうかがいします。育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に○をつけ、「2. 長くした」および「3. 短くした」を選ばれた方は、枠内に数字で記入してください。

1. 変わらない
2. 長くした (____ヶ月)
3. 短くした (____ヶ月)

問 23-4 問 23-2 で「3. できなかった」を選ばれた方におうかがいします。どのように対応されましたか。

1. 希望とは違う認可保育所を利用した
2. 事業所内の保育サービスを利用した
3. 上記以外の保育サービスを利用した
4. 家族等にみてもらうことで対応した
5. 仕事を辞めた

子育てに関する悩みや不安についておうかがいします。

問 24 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登園拒否などの問題について
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他（ ）
19. 特になし

問 25 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。主にあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
6. 子どもの面倒をみってくれる保育園などが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. その他（ ）

問 26 理想の数の子どもを持たない（持てない）理由はなんですか。あてはまる番号すべてを選んで○をつけてください。

- 子育てに関する悩みの相談相手についておうかがいします。

問 27 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していらっしゃいますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- 15

子育てに関する情報の入手方法についておうかがいします。

問 28 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 親族（親、きょうだいなど） | 2. 隣近所の人、知人、友人 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 4. 保育所、幼稚園 |
| 5. 市役所や市の機関 | 6. 市の広報やパンフレット |
| 7. テレビ、ラジオ、新聞 | 8. 子育て雑誌・育児書 |
| 9. インターネット | 10. コミュニティー誌 |
| 11. その他（ ） | |
| 12. 情報の入手先がない | |
| 13. 情報の入手手段がわからない | |

自主的な活動への参加状況についておうかがいします。

問 29 あなたは子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。次の中からあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 現在参加している
2. 現在参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない（→問 31 へ）

問 30 自主活動をしていくにあたって行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 活動場所の提供（場所貸しなど）
2. 情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）
3. 活動時間中の保育サービス
4. 活動資金助成
5. その他（ ）

子どもの遊び場についておうかがいします。

問 31 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。下の中から主な番号を3つまで選んで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危険である
11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
12. その他（ ）
13. 特に感じることはない

外出されたとき、気になったことについておうかがいします。

問 32 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。下の中から主な番号を3つまで選んで○をつけてください。

1. 歩道や信号のない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとuringおいがないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
11. 荷物や子どもに気をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（ ）
13. 特に困ること・困ったことはない

市役所へのご要望・ご意見について、おうかがいします。

問 33 市役所に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと思いますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい
3. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作してほしい
4. 保育所を増やしてほしい
5. 幼稚園を増やしてほしい
6. 保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい
7. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい
8. 安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい
9. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい
10. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
11. 子育てについて学べる機会を作してほしい
12. その他 ()

問 34 市役所の子育て支援施策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、自由に記入してください。

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

就学児童用調査票

1. 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についておうかがいします。

問 1 封筒のあて名のお子さんの生年月をおうかがいします。

平成____年____月 生まれ

問 2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成 20 年 4 月 1 日現在の年齢）を記入してください。

____人 末子の年齢____歳

問 3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。また同居・近居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数を記入してください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） |
| 3. 母同居（ひとり親家庭） | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他（ ） |

【家族全員で（ ）人（ご両親とお子さんを含む全員の人数）】

問 4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問 4-1 は、問 4 で「1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」を選ばれた方におうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問 4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、おうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他（ ） |

問 4-2 は、問 4 で「3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」を選ばれた方におうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問 4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、おうかがいします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 () |

問 5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 |
| 3. 主に祖父母 | 4. その他 () |

問 6 お住まいの小学校区はどこですか。あてはまる番号 1 つだけに○をつけてください。小学校区がわからない方は、お住まいの町名を回答欄の最後にある () 内に記入してください。

- | | | | | | |
|----------|----------|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 椿井 | 2. 飛鳥 | 3. 鼓阪 | 4. 済美 | 5. 佐保 | 6. 大宮 |
| 7. 都跡 | 8. 大安寺 | 9. 東市 | 10. 平城 | 11. 辰市 | 12. 明治 |
| 13. 帯解 | 14. 精華 | 15. 伏見 | 16. 富雄南 | 17. 富雄北 | 18. 田原 |
| 19. 柳生 | 20. 大柳生 | 21. 相和 | 22. あやめ池 | 23. 鶴舞 | 24. 鳥見 |
| 25. 登美ヶ丘 | 26. 六条 | 27. 青和 | 28. 右京 | 29. 東登美ヶ丘 | 30. 二名 |
| 31. 西大寺北 | 32. 富雄第三 | 33. 平城西 | 34. 大安寺西 | 35. 三碓 | 36. 神功 |
| 37. 朱雀 | 38. 済美南 | 39. 鼓阪北 | 40. 伏見南 | 41. 佐保台 | 42. 佐保川 |
| 43. 左京 | 44. 月ヶ瀬 | 45. 並松 | 46. 都祁 | 47. 吐山 | 48. 六郷 |

ご住所 (奈良市 _____ 町)

2. 封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についておうかがいします。

問7 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。あてはまる答えの番号1つだけに○をつけてください。併せて、〔 〕に数字を記入してください。

（1）父親

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）
→ 1週あたりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、1日あたり〔 〕時間】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【1. 希望がある 2. 希望があるが予定はない 3. 希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2）母親

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）
→ 1週あたりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についておうかがいします。
【1週あたり〔 〕時間、1日あたり〔 〕時間】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【1. 希望がある 2. 希望があるが予定はない 3. 希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問8は、問7の「（2）母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の「1～3」を選ばれた方は、問9へお進みください。

問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号1つだけに○をつけてください。

1. ある（すぐにでも、もしくは、1年以内に希望がある）（→問8-1へ）
2. ある（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）（→問8-1へ）
3. ない（→問9へ）

問 8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号 1 つだけに○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は 1 週あたりの日数および 1 日あたりの時間も記入してください。)

- 問 8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。最も近い答えの番号に 1 つだけに○をつけてください。

- 問 8-3 は、問 8 で「2. ある（1 年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方におうかがいします。

歳になったとき

問9 あて名のお子さんについて、現在、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用していますか。
あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 利用している（問 9-1 へ）
2. 利用していない（問 9-2, 3 へ）

問 9-1 問9で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。あて名のお子さんについて、バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号1つだけに○をつけてください。

週 日くらい → うち土曜日の利用（1. ある 2. ない）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障がいをもっている
5. 学生である
6. その他（ ）

問 9-2 問9で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号1つだけに○をつけてください。

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を知らなかったから
3. 就労しているが、近くにバンビーホーム（放課後児童クラブ）がないから
4. 就労しているが、バンビーホーム（放課後児童クラブ）に空きがないから
5. 就労しているが、バンビーホーム（放課後児童クラブ）の開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他（ ）

問 9-3 問9で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。あて名のお子さんについて、今後、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 利用したい → 週 日くらい、うち土・日の利用希望（1. ある 2. ない）
2. 今後も利用しない

問 11-1 この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても 1 日としてカウントしてください。)

- 問 11-2 問 11-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」「3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどのくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

5. すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのことについておうかがいします。

1. ある → (年間 日)
(理由別)

①私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的(日)

②冠婚葬祭、子どもの親の病気(日)

③就労(日)

2. ない

月に 目くらい

6. すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについておうかがいします。

問 14 この 1 年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）（→問 14-1. 2 へ）
2. なかった（→問 15 へ）

問 14-1 この 1 年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. （同居者を含む）親族・知人に預けた（ ）泊（→問 14-2 へ）
2. 保育サービス（ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した（ ）泊
3. 仕方なく子どもも同行させた（ ）泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた（ ）泊
5. その他（ ）（ ）泊

問 14-2 問 14-1 で「1.（同居者を含む）親族・知人に預けた」を選んだ方におうかがいします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号 1 つだけに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

7. ベビーシッターを利用していらっしゃる方におうかがいします。

問 15 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
4. その他（ ）

問 15-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1 回あたり____時間程度

問 16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい

8. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についておうかがいします。

問 17 男女共同参画センター「あすなら」内にあるファミリーサポートセンター（会員制による子どもの一時預かりを主とした相互援助活動）を利用していますか。

1. 利用している（→問 17-1. 2. 3. 5 へ）
2. 利用していない（→問 17-4. 5 へ）

問 17-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
4. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
5. 保育施設等の送り迎えに利用している
6. その他（ ）

問 17-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

問 17-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

問 17-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字を記入してください。

月に____日くらい、1回あたり____時間程度

問 17-5 すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用について、実施してほしいサービス（援助活動）等のご希望がありましたら、自由に記入してください。

すべての方に、子育て支援サービスの認知度・利用意向についておうかがいします。

問 18 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したい
 と思いますか。サービスごとに、「1. 知っている」「2. これまでに利用したことがある」「3. 今後
 利用したい」の1～3の番号ごとに回答欄に○を記入してください。

サービスの種類	1. 知っている	2. これまでに利用 したことがある	3. 今後利用したい
①保健センターの情報・相談サービス			
②家庭教育に関する講座・講演会			
③教育相談（青少年指導課）			
④つどいの広場（※身近な地域における親子のつどいの場で0～3歳児対象のサービス）			
⑤地域子育て支援センター（※身近な地域における相談や親同士の交流の場で0～3歳児対象のサービス）			
⑥児童館			
⑦家庭児童相談室 （※市の子育て課にある子育ての総合相談窓口）			
⑧市が発行している情報誌			

子育てに関する悩みや不安についておうかがいします。

問 19 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 不登校などの問題について
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他（ ）
19. 特にない

問 20 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。主にあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
6. 子どもと接する時間が少ない
7. その他（ ）

問 21 理想の数の子どもを持たない（持てない）理由はなんですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- 子育てに関する悩みの相談相手についておうかがいします。

問 22 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していらっしゃいますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. その他の親族（親・きょうだいなど） |
| 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 4. 職場の人 |
| 5. 学校の保護者の仲間 | 6. 子育てサポーター |
| 7. 学校の先生 | 8. 医師・保健師・看護師・栄養士など |
| 9. 家庭児童相談室（子育て課） | 10. 地域子育て支援センター |
| 11. 母子相談員 | 12. 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 13. 教育相談室 | 14. 保健センター |
| 15. 保健所 | 16. 中央こども家庭相談センター（児童相談所） |
| 17. 民間の電話相談 | 18. インターネットを利用したコミュニケーション |
| 19. 相談相手がいない | 20. その他（ ） |
| 21. 相談すべきことはない | |

子育てに関する情報の入手方法についておうかがいします。

問 23 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 親族（親、きょうだいなど） | 2. 隣近所の人、知人、友人 |
| 3. 学校 | 4. 市役所や市の機関 |
| 5. 市の広報やパンフレット | 6. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 7. 子育て雑誌・育児書 | 8. インターネット |
| 9. コミュニティー誌 | 10. その他（ ） |
| 11. 情報の入手先がない | 12. 情報の入手手段がわからない |

外出されたとき、気になったことについておうかがいします。

問 24 子どもとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。下の中から主なものを3つまで選んで○をつけてください。

1. 歩道や信号のない通りが多く、安全に心配があること
2. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
3. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
4. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいがない
5. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
6. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
7. 荷物や子どもに気をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
8. その他（ ）
9. 特に困ること・困ったことはない

お子さんの居場所についておうかがいします。

問 25 平日の放課後の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを点線枠内の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選んで下の表に番号を記入してください。

14～16時	16～18時	18～20時	20時以降

《時間帯ごとに番号を表の中に記入》

1. 学校にいた
2. バンビーホーム（放課後児童クラブ）で過ごした
3. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした
4. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごした
5. 家でひとりで過ごした（自分以外に誰もいない状態）
6. 友だちの家に行った
7. 公園などで友だちと遊んでいた
8. 児童館などの公共の施設にいた→（施設名： ）
9. クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた
10. 学習塾や習いごとを行っていた
11. その他（ ）

問 26 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。下の中から主な番号を3つまで選んで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危険である
11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
12. その他（ ）
13. 特に感じることはない

問 27 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。次の中から希望する番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 子どもに遊びを教えたり、しつづけをしてくれる場
2. 子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場
4. 子ども自身が悩みを相談できる場
5. その他（ ）

お子さんの地域活動への参加についておうかがいします。

問 28 封筒のあて名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。次の中からあてはまる答えの番号 1 つだけに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 参加したことがある (→問 28-1 へ) |
| 2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている (→問 28-1 へ) |
| 3. 参加したこともなく、今後も参加はない |

問 28-1 問 28 で 1. 2. を選んだ方におたずねします。

お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. スポーツ活動 | 2. 文化・音楽活動 |
| 3. キャンプ等の野外活動 | 4. 高齢者訪問等の社会福祉活動 |
| 5. ホームステイ等の国際交流活動 | 6. 子ども会等青少年団体活動 |
| 7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動 | |
| 8. その他 (|) |

市役所へのご要望・ご意見について、おうかがいします。

問 29 子育てに関する市役所の窓口や公的施設を利用した時に、不満に思ったことはありますか。次の中からあてはまる答えの番号 1 つだけに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------|----------------------|
| 1. ある (→問 29-1 へ) | 2. ない | 3. 市役所の窓口等を利用したことがない |
|-------------------|-------|----------------------|

問 29-1 問 29 で 1. を選んだ方におたずねします。

どのような点に不満を感じましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 対応が不親切 | |
| 2. 手続きが煩雑で時間がかかる | |
| 3. 保育スペースがない | |
| 4. 子育てに関する必要な情報がすぐに得られない | |
| 5. その他 (|) |

問 30 市役所に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと思いますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい
3. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作してほしい
4. 安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい
5. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい
6. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
7. 子育てについて学べる機会を作してほしい
8. その他 ()

問 31 市役所の子育て支援施策に関するご意見やその他のご要望等がありましたら、自由に記入してください。

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

● 国のニーズ調査票イメージに対するご意見等のまとめ

意見の分類	意見の内容			意見の意図・視点等	事務局の対応案
	ページ	問題番号	意見等		
設問・選択肢の追加について	7	問14 (1) (2)	・選択肢に「仕事がない」、「保育がない」という項目を入れる。	・就労できない現状や、保育サービスが足りていない現状を把握するため。	・実際に保育サービスが足りない現状を把握するためにも、設問を追加する。
	9	問15-5	・選択肢に「自分が利用の対象になるとは知らなかった」を追加する。	・利用者支援の必要性をはかるため。	・有効であるため、追加する。
	9	—	・実際に何らかの保育・子育て施設を利用されている方への設問を追加してはどうか。具体的には、「問●—●現在利用している教育・保育の事業所の利用料についてお伺いします。 1. 安いと思う 2. 適当（ちょうどいい） 3. やや高いと思う 4. 高すぎる 5. その他（ ）」	・理由としては、若者世代の雇用環境が悪化している中で、奈良市の保育料等は他市と比べて安いほうなのに、保護者向けのアンケートをすると、必ず保育料が高いと感じるとの意見が上位にきており、子育て支援を考える際の参考にするため。	・仮に追加した場合、本市では3又は4が上位に挙がる可能性が非常に高いが費用負担に関する条例・規則を策定する際のパブリックコメント手続で募集した方が効果的と思われる。
	11	問19	・事業の項目に「子ども発達センター」を追加する。	・子どもの発達障がい注目する必要がある。	・実施している事業は追加する。
表現・見やすさについて	4	問8	・3～5の選択肢を1つにまとめてはどうか。また、複数回答をやめてはどうか。	・最も影響するものを選ぶ場合、該当する答えは1つで、3～5は同列1位になる可能性があると思われるため。	・幼稚園や保育園に通園している理由は様々であり、現状の選択肢を採用する。
	4	問9-1・2	・選択肢4で、「親」を「保護者」に変える。	・回答者が「親」とは限らないため。	・「保護者」に変更する。
	6～7	問12～14	・母親、父親を1ページにまとめず、母親のページと父親のページに分けるのはどうか。まとめていると少しわかりにくく感じる。		・回答のしやすさを重視して、全体のボリュームを見ながらレイアウトを変更する方向で検討する。
	11	問19	・地域子育て支援拠点（親子でつどう場）も入れてほしい。また、分類上の表記ではなく、具体的に使用している名前で記載して、ファミリーサポートセンター等なるべくたくさん入れてはどうか。	・各事業の周知度をはかるため。	・名称や項目については、本市の現状に合わせて追加・変更する。
	13	—	・選択肢中の「 □□ 日 」について、この「□」の枠を大きめにするか2つの「□」をつなげて1つで記載する等してはどうか。	・「 □□日 」に記入するのは書きにくい。記号かと思ってしまう。	・「□」は記入しにくいので、「（ ）」に変更する。
	13	問22-1	・奈良市はファミリーサポート事業において、病児保育等は実施していない。		・全国共通項目であるが、できるだけ本市の現状に合わせる。
	14	問22-5・6	・質問文中の「看たい」について、ふり仮名を付けるか、表現を変える。	・全体的に漢字が多くて、読みにくいのではないかと思う。	・他のページでは「みたい」と記載されているため、修正する。
	15	問23-1	・選択肢の表現を次のように変える。「2. 利用したいがサービスがない」、「3. 質に不安がある」、「4. 利便性」、「7. 自分が利用できるかどうかわからない」	・サービスを利用していない理由を純粹にきくため。	・読みやすい平易な表現に変更する。
	15	問24	・設問文の表現を次のように変える。「利用する必要がある」→「利用したいと思いますか」	・誘導されやすい表現のため、希望をきく方がよい。	・希望を聞く表現に変更する。

（備考） ① 誤字脱字に関する意見等は省略しています。
 ② 調査票イメージ中の居住地区や事業名及び施設名等については、本市の状況に合わせた名称に修正します。
 ③ 設問追加を検討する一方で、保護者が回答しやすいように全体のボリュームについても同時に検討します。そのため、紙面のスペースや予算の都合上等で、いただいた全てのご意見を網羅できない場合があります。